

沖縄民謡の語注試案 (1)

Tentative Vocabulary Notes on Okinawan Folksongs (Part 1)

西岡 敏

NISHIOKA Satoshi

本稿では、沖縄語で歌われる沖縄民謡のいくつかを取り上げ、語注を施す作業を行う。沖縄民謡の厳密な歌詞解釈を目指して取り組みたい。

まずは歌詞を漢字かな交じり・ルビ付きで掲げ、『沖縄語辞典』に基づく音韻表記を併記する。漢字かな交じり表記の当て漢字は、原典を参考にはするが、筆者が沖縄語と漢字のそれぞれの意味をふまえて、あらためて当て直すことにした。語注では、それら歌詞を単語ごとに区切り、それぞれ品詞分解を行う。動詞、形容詞等の活用語は終止形を指摘し、動詞については『沖縄語辞典』に倣って、否定形とテ形も提示する。なお、一度説明した単語については、その後説明を省略する。音韻表記の後の (0) (1) は『沖縄語辞典』に掲げられた単語(首里方言)のアクセント記号で、(0) が平板型、(1) が下降型である。(0?) (1?) と疑問符が付いているものは、複合語のアクセント規則などでそのように予想されるが、実際の話者に未確認であることを示す。語注を掲げたあと、語注に基づく通釈を掲げる。

- | | |
|-----------------|---|
| 1. 切り捨てい節 | cirisiti-busi |
| ① | |
| かんねーる 欠き包丁小やよー、 | kaNneeru kaki-boocaa-gwaa-ja=joo, |
| 豆腐ん 切らりらんむん、 | toohu-N cira-riraN-muN, |
| 何 すが? ちゃん投げれー! | nuu su-ga? caN-nagiree! |
| よーそーき、バーチー! | joosooki, baacii! |
| うり 捨ていんなよー! | ?uri sitiN-na=joo! |
| うりやよー、鍋小ぬ 尻搔ち物、 | ?uri-ja=joo,naabi-gwaa-nu cibi-kaci-munu, |
| いっちが そー物どー! | ?iQciga soomuN=doo! |

よーそーき、よーそーき！ ※
うり 捨て^していんなよー！

joosooki, joosooki!
ʔuri sitiN-na=joo!

②

かんねーる 尻^{ちび}ふぎパーキやよー、
芋^{うんむ}ん 洗^{あら}ーりらんむん、
何^{ぬー}すが？ ちゃん投^なぎれー！

kaNneeru cibi-hugi-baaki-ja=joo,
ʔNmu-N ʔaraa-riraN-muN,
nuu su-ga? caNnagiree!

よーそーき、バーチー！
うり 捨て^していんなよー！
うりやよー、鶏^{とういくわー}小^{くー}ぬ 卵^な産^{むぬ}し物、
いっちが そー物^{むん}どー！

joosooki, baacii!
ʔuri sitiN-na=joo!
ʔuri-ja=joo, tui-gwaa-nu kuuga-nasi-munu,
ʔiQciga soomuN=doo!

※ repeat

③

かんねーる 肩^{かたう}落^{ちんぐわー}てい衣^{ちんぐわー}小^{くわー}やよー、
袖^{すでい}ん 通^{とうー}さりらんむん、
何^{ぬー} すが？ ちゃん投^なぎれー！

kaNneeru kata-ʔuti-ciN-gwaa-ja=joo,
sudi-N tuusa-riraN-muN,
nuu su-ga? caNnagiree!

よーそーき、バーチー！
うり 捨て^していんなよー！
うりやよー、童^{わらび}ぬ 尻^{ちびぬぐ}拭^{ぐわー}やー小、
いっちが そー物^{むん}どー！

joosooki, baacii!
ʔuri sitiN-na=joo!
ʔuri-ja=joo, warabi-nu cibi-nugujaa-gwaa,
ʔiQciga soomuN=doo!

※ repeat

④

かんねーる 欠^かき碗^{まかいぐわー}小^{くわー}やよー、
物^{むぬ}ん 入^いっていん 食^かまらん、

kaNneeru kaki-makai-gwaa-ja=joo,
munu-N ʔiQtiN kama-raN,

ぬー すが? ちゃん^な投げれー! nuu su-ga? caNnagiree!

よーそーき、バーチャー! joosooki, baacii!

うり 捨ていんなよー! ?uri sitiN-na=joo!

うりやよー、豚^{うわーぐわー}小^{むぬくわ}ぬ 物^{ぐわー}喰^{むん}ーさー小、 ?uri-ja=joo, ?waa-gwaa-nu munu-kwaasaa-gwaa,

いっちが そー物^{むん}どー! ?iQciga soomuN=doo!

※ repeat

歌詞テキストの引用は、CD『メンソーレ沖縄 島唄ベスト②』（キングレコード KICH2158、大城学 [解説]）にある「②三村踊り」の歌詞カードを参考にした。ただし、実際に CD を聞いて歌詞を正確に写し取るよう心掛けている。

[語注]

チリシティ cirisiti(1)[名詞] ごみだめ。ごみ捨て場。チリシティユン cirisitijuN(0) (切り捨てる)が名詞化した形。「切り捨てい節」は廃物利用の歌として知られる。

①

カンネール kaNneeru (0) [連体詞] このような。こんな。

カキボーチャー kaki-boocaa(1?)[名詞] 欠けた包丁。カキユン kakijuN(1)(欠ける)の連用形 + ホーチャー hoocaa (0) (包丁)の複合語。

カキユン kakijuN(1)[動詞] 欠ける。カキラン kakiraN(欠けない)。kakiti(欠けて)。

ホーチャー hoocaa (0) [名詞] 包丁。

グワー -gwaa[接尾辞] 小さいこと、かわいいことを表す指小辞。

ヤ ja[係助詞] ～は。

ヨー =joo[終助詞] ～よ。～ぞ。軽い強調を表す。

トーフ toohu (0) [名詞] 豆腐。

ン -N[係助詞] ～も。

チララン cira-riraN 切ることができない。切れない。動詞チユン cijuN (0) (切る)の未然形に可能の助動詞リーン -riiN の否定形リラン -riraN が付いた形。現在

の首里方言などでは、リーン -riiN の否定形はラン -raN で、チララン cira-raN という形が出るが、ここでは一段動詞と同様であるとの類推がはたらいて、チラリラン cira-riraN という「り入れ言葉」となっている。「り入れ言葉」は琉歌などの文語でも見られる。

チユン cijūN (0) [動詞] 切る。チラン ciraN (切らない)。チッチ ciQci (切って)。ムン -muN[接続助詞] ～から。～のに。連体形に付く。理由(順接)を示す場合と逆接を示す場合とがある。ここでは逆接の意味に解釈した。

ヌー nuu (0) [名詞] 何。どう。

スガ su-ga するの。動詞スン suN (1) (する) の尾略形に疑問の終助辞ガ -ga が付いた形。

スン suN (1) [動詞] する。不規則活用。サン saN (しない)。ツシ Qsi (して)。

ガ -ga[終助辞] ～か。前に疑問詞があるときに、文末に来る要素。補足疑問文(疑問詞疑問文)のときの終助辞。

チャンナギレー caNnagiree 捨ててしまえ。投げ捨てろ。動詞チャンナギユン caNnagijuN (0) (投げ捨てる) の命令形。

チャンナギユン caNnagijuN (0) [動詞] 投げ捨てる。捨ててしまう。チャンナギラン caNnagiraN (投げ捨てない)。チャンナギティ caNnagiti (投げ捨てて)。

ヨーソーキ joosooki よしておけ。やめておけ。動詞ヨーソーチュン joosocūN (1) (よしておく) の命令形。

ヨーソーチュン joosocūN (1) [動詞] よしておく。やめておく。ヨーソーカン joosookaN (よしておかない)。ヨーソーチ joosocci (よしておいて)。

パーチー baacii (0) [名詞] おばさん。平民の父母の妹。あるいは、下女のおばさん。

ウリ ?uri (1) [名詞] それ。

シティンナ sitiN-na 捨てるな。動詞シティユン sitijuN (1) の禁止形。基本形シティル sitiru に禁止の終助辞ナ -na が付き、シティルナ sitiru-na が逆行同化によって、シティンナ sitiN-na と音変化した。

シティユン sitijuN (1) [動詞] 捨てる。シティラン sitiraN (捨てない)。シティティ sititi (捨てて)。

ナ -na[終助辞] ～(する)な。禁止を表す。動詞の基本形に付く。

ナービ naabi (0) [名詞] 鍋。

ヌ -nu[格助詞] ~の。ここでは連体格を表す。

チビカチムヌ cibi-kaci-munu (1?) [名詞] 底(尻)を搔く物。チビ cibi (1) (尻)
+カチュン kacuN (0) (搔く)の連用形+ムヌ munu (0) (物)の複合語。

チビ cibi (1) [名詞] 尻。ここでは鍋の「底」を表す。

カチュン kacuN (0) [動詞] 搔く。書く。カカン kakan (搔かない)。カチ kaci (搔いて)。

ムヌ munu (0) [名詞] 物。ムヌ munu (0) では食べ物を示すことが多い。

イッチガ ?iQciga(1?) [副詞] もっとも。一番。『沖繩語辞典』にはイッチン ?iQciN(1)
は載っているが、イッチガ ?iQciga は載っていない。

ソームン soomuN (1) [名詞] 重宝な物。大事な物。

ドー =doo[終助詞] ~ぞ。だぞ。断定や主張を表す。

②

チビフギバーキ cibi-hugi-baaki(1?) [名詞] 底(尻)に穴があいた竹ざる。チビ cibi(1)
(尻)+フギユン hugijuN (1) (ほげる)の連用形+バーキ baaki (0) (ざる)の複合語。
フギユン hugijuN (1) [動詞] 穴があく。ほげる(九州方言)。フギラン hugiraN (ほ
げない)。フギティ hugiti (ほげて)。

バーキ baaki (0) [名詞] 竹ざる。竹かご。

ウンム ?Nmu (0) [名詞] 芋。ふつう、サツマイモのことを指す。

アラールラン ?araa-riraN 洗うことができない。洗えない。動詞アラユン ?arajuN (1)
(洗う)の未然形アラール ?araa に可能の助動詞リーン -riiN の否定形リラン -riraN が
付いた形。アラール ?araa は、アラワ ?arawa の w が脱落した形である。

アラユン ?arajuN (1) [動詞] 洗う。アラーン ?araaN、アララン ?araraN (洗わない)。
アラティ ?arati (洗って)。

トウイ tui (1) [名詞] 鳥。ふつう、鶏のことを指す。

クーガナシム kuuga-nasi-munu (0?) [名詞] 卵を産む物。クーガ kuuga (0) (卵)
+ナスン nasuN (0) (産む)の連用形+ムヌ munu (0) (物)の複合語。

クーガ kuuga (0) [名詞] 卵。ふつう、鶏卵を指す。

ナスン nasuN (0) [動詞] 産む。ナサン nasaN (産まない)。ナチ naci (産んで)。

③

カタウティチン kata-ʔuti-ciN (0?) 肩落ちの着物。肩袖が完全にほつれた着物。カタ kata (0) (肩) + ウティユン ʔutijuN (0) (落ちる) の連用形 + チン ciN (0) (着物) の複合語。

カタ kata (0) [名詞] 肩。

ウティユン ʔutijuN (0) [動詞] 落ちる。ウティラン ʔutiraN (落ちない)。ウティティ ʔutiti (落ちて)。

チン ciN (0) [名詞] 着物。きぬ (衣) に対応する語。

スディ sudi (1) [名詞] 袖。

トウーサリラン tuusa-riraN 通すことができない。通せない。動詞 tuusuN (0) (通す) の未然形トウーサ tuusa に possible の助動詞リーン -riiN の否定形リラン -riraN が付いた形。

トウースン tuusuN (0) [動詞] 通す。トウーサン tuusaN (通さない)。トウーチ tuuci (通して)。

ワラビ warabi (0) [名詞] 子ども。

チビヌグヤー cibi-nugujaa (1?) [名詞] 尻を拭う物。チビ cibi (1) (尻) + ヌグヤー nugujaa (拭う物) の複合語。ヌグヤー nugujaa は、動詞ヌグユン nugujuN (0) (拭う) の連用形ヌグイ nugui に、物・人などを表す接尾辞アー -aa が付いたもの。

ヌグユン nugujuN (0) [動詞] 拭う。ヌグラン nuguraN (拭わない)。ヌグティ nuguti (拭って)。否定形はラ行四段化している。

④

カキマカイ kaki-makai (1?) [名詞] 欠けた碗。カキユン kakijuN (1) (欠ける) の連用形 + マカイ makai (0) (碗) の複合語。

マカイ makai (0) [名詞] 碗。

ムヌ munu (0) [名詞] 食べ物。飯。

イッティン ʔiQtiN 入れても。動詞イリユン ʔirijuN (1) のテ形 + 係助詞 -N で、「～しても」という譲歩の意味を表す。

イリユン ʔirijuN (1) [動詞] 入れる。イリラン ʔiriraN (入れない)。イッティ ʔiQri (入れて)。音便語幹が促音化する。

カマラン kamaraN 食べることができない。食べられない。動詞カムン kamuN(0)(食べる)の未然形に可能の助動詞リーン -riiNの否定形ラン -raNが付いた形。ここでは「リ入れ言葉」にはなっていない。音数律なども関係するのだろう。

カムン kamuN(0)[動詞] 食べる。カマン kamaN(食べない)。カディ kadi(食べて)。ウワー ?waa (0) [名詞] 豚。

ムヌクワサー munu-kwaasaa (0?) [名詞] 食べ物や喰わせる物。ムヌ munu (0)(食べ物) + クワサー kwaasaa (喰わせる物)の複合語。クワサー kwaasaaは、動詞クワスン kwaasuN(1)(喰わせる)の連用形クワシ kwaasiに、物・人などを表す接尾辞アー -aaが付いたもの。柑橘類のシークワサー(ヒラミレモン)の「クワサー」と同語源である。

クワスン kwaasuN(1)[動詞] 喰わせる。クワサン kwaasaN(喰わせない)。クワチ kwaaci (喰わせて)。

[通釈]

- ①こんな欠けた包丁はねえ、豆腐も切れないのに、どうすんの? 捨ててしまいなさい! よしてよ、おばさん! それは捨てないで! それはねえ、お鍋の底を掻く物として、とっても重宝する物よ! ※ (よしてよ、よしてよ、それは捨てないで!)
- ②こんな底に穴のあいた箆はねえ、芋も洗えないのに、どうすんの? 捨てておしまい! よしてよ、おばさん! それは捨てないで! それはねえ、鶏さんが卵を産むための物として、とっても重宝する物よ! ※
- ③こんな肩落ちの着物はねえ、袖も通せないのに、どうすんの? 捨ててしまいなさい! よしてよ、おばさん! それは捨てないで! それはねえ、子どものお尻を拭く物として、とっても重宝する物よ! ※
- ④こんな欠けた碗はねえ、食べ物も入れて食べられず、どうすんの? 捨てておしまい! よしてよ、おばさん! それは捨てないで! それはねえ、豚さんにエサを喰わせる物として、とっても重宝する物よ! ※

[メモ]「ソームン」の当て漢字は、語源から考えれば【性物】となるが、その当て漢字で沖縄語の意味を喚起することは困難である。歌詞④番中の「ムヌン イッティンカマラン」は、直訳すると、「食べ物も、入れても、食べられない」となるが、「ム

ヌン」の係助詞「ン」は最後の「カマラン」にまで係ると考えられる。

2. 太鼓囃し (多幸山)

teeku-beesi (takoo-jama)

①

多幸山ぬ 山猪

takojama-nu jamasisa

驚くな 山猪

?uduruku-na jamasisi

喜納ぬ 高平安座 平安座

cina-nu taka-hwiNza hwiNza

サヨー 山田戻い

sajoo jamada-mudui

いったー 山田や

?iQtaa jamada-ja

ぬー 何さる 山田が

nuusaru jamada-ga

わ 我にん 山田

waniN jamada

行じ んちゃしえー

?Nzi Nca-see

行じ んちゃしえー

?Nzi Nca-see

②

若さ 一時ぬ

wakasa hwitutuci-nu

通い路ぬ 空や

kajuizi-nu sura-ja

闇ぬ 追坂ん 坂や

jami-nu sakuhwira-N hwira-ja

サヨー 車 坦原

sajoo kuruma tobaru

上道 踏ん切ち

?wii-mici kuNcici

下道 通りば

sica-mici tuuri-ba

愛し 思やとう

kanasi ?umuja-tu

行逢ゆらどー

?icajura=doo

行逢ゆらどー

?icajura=doo

③

東方 でむぬ

?agari-kata-demunu

歌ぬ 負きやびみ

?uta-nu makij-abim-i

ふい 弾ちみそり さとうめ 里前 里前
サヨー 載^ぬしてい さびら

hwici-misori satu-me satu-me
sajoo nusiti s-abira

とう 取やい な 投げりば
ゆくざん 横棧 かちみてい
とうか 十日ん はちか 二十日ん
く 踏ん張とーれー
く 踏ん張とーれー

tujai nagiri-ba
jukuzaN kacimiti
tuka-N hacika-N
kuNpatooree
kuNpatooree

④

わか 若さ たる 頼がきてい
い 何時ん はな 花 とうむ 思な
うみ 思ゆらん かじ 風ぬ 風ぬ
サヨー 吹^ふかば ちや 如何 すが

wakasa tarugakigi
?iciN hana tumu-na
?umijuraN kazi-nu kazi-nu
sajoo huka-ba ca su-ga

あぬ やま 山 行かわん
くぬ やま 山 行かわん
うまにー 思姉 うまにー 思姉
すなよーやー
すなよーやー

?anu jama ?ika-waN
kunu jama ?ika-waN
?umanii ?umanii
su-na=joo=jaa
su-na=joo=jaa

歌詞テキストの引用は、CD『メンソーレ沖縄 島唄ベスト②』（キングレコード KICH2158、大城学 [解説]）にある「⑥太鼓囃し」の歌詞カードを参考にした。

[語注]

テークベーシ teeku-beesi [名詞] 太鼓囃し。原文の歌詞カードでは、「^{たいこぼや}太鼓囃し」と日本語のルビが振られているが、この歌が歌われる CD の音源（唄：糸満ヤカラズ）の囃しの中に、「イチマンヤカラヌ テークベーシヤ ウムシルムンサミ、ナマヌ ヒョーシニ テーク ハヤサナ」（糸満輩の太鼓囃しは面白いよ、今の機会に太鼓を囃し立てよう）というフレーズがあり、沖縄語でテークベーシ teeku-

beesi と言っていることが知れる。カチャーシーの曲としても知られるこの曲は、タコーヤマ takoojama (多幸山) と呼ばれることも多い。①～④番までの歌詞のそれぞれの前半部は琉歌形式 (8886) である。

①

タコーヤマ takoojama [名詞] 多幸山。かつては山賊が出るところとして人々に警戒されていた。琉歌形式であるので、音数律を合わせるために、タコヤマ takojama と「コ」を短くして読まれる。

ヤマシサー jamasisaa (0?) [名詞] 猪。ヤマシシ jamasisi (0) に、卑語的要素のアー-aa の付いた形。

ウドウルクナ ?uduruku-na 驚くな。動詞ウドウルチュン ?udurucuN (0) の禁止形。基本形ウドウルク ?uduruku に禁止の終助辞ナ -na が付いた形。

ウドウルチュン ?udurucuN (0) [動詞] 驚く。ウドウルカン ?udurukaN (驚かない)。

ウドウルチ ?uduruci (驚いて)。

ヤマシシ jamasisi (0) [名詞] 猪。

チナー cinaa [名詞] 喜納。地名。本来、漢字は【喜名】で番所のあった所か。

タカフィンザ taka-hwiNza [名詞] 高平安座。人名か。同じ琉歌を載せる『琉歌全集』2017 番歌では、この琉歌を赤犬子 (アカインコ) の作であるとし、彼が高離島 (宮城島) などに居たことを踏まえて高平安座 (たかへんざ) と名乗っていたと解釈している。平安座 (フィンザ) は、高離島 (宮城島) と隣接する平安座島と関係があるのだろう。

サヨー sajoo [感動詞] 囁し言葉。

ヤマダムドゥイ jamada-mudui [名詞] 山田からの戻り。ヤマダ jamada (山田) + 動詞ムドゥユン mudujuN (0) の連用形。山田は地名で、護佐丸の築城による山田城で有名。『琉歌全集』2017 番は、「山田には美人の祝女がいて、そこへ行っての帰り」と解釈している。

ヤマダ jamada [名詞] 山田。地名。字山田は、現在。恩納村に属する。

ムドゥユン mudujuN (0) [動詞] 戻る。ムドゥラン muduraN (戻らない)。ムドゥティ muduri (戻って)。

イッター ?iQtaa (0) [名詞] お前たち。2 人称複数親称。助詞なしで連体格の働き

をする。

ヌーサル nuusaru (0) [連体詞] 何ほどの。何する。たいしたことはない。

ワンニン waNniN 私も。形はワン waN (私) + ニ ni (に) + ン N (も) に当たる。

歌詞などではワンニ waniN などと短くなる。

ワン waN (0) [名詞] 私。

ウンジ ?Nzi (1) 行って。動詞イチユンの ?icuN (1) のテ形。補充法による不規則活用である。

イチユン ?icuN (1) [動詞] 行く。イカン ?ikaN (行かない)。ウンジ ?Nzi (行って)。ンチャシュー Nca-see みたよ。補助動詞ンジュン NzuN (0) (みる) の過去形ンチャ NcaN の尾略形に終助辞シュー see が付いた形。ここでの補助動詞ンジュンは、試みを表す「～してみる」の「みる」に相当する。

ンジュン NzuN(0) [動詞] 見る。(～して)みる。ندان NdaN(見ない)。ンチ Nci(見
て)。

シュー -see[終助辞] ～よ。軽い主張を表す。動詞などの尾略形に付く。

②

ワカサ wakasa 若さ。形容詞ワカサン wakasaN (0) (若い) のサ語幹の形。以下の
琉歌形式の歌詞は『琉歌全集』179 番歌に同じ。

ワカサン wakasaN (0) [形容詞] 若い。

フィットウトウチ hwitutuci [名詞] ひと時。文語。

カユイジ kajuizi (0) [名詞] 通い路。女のもとに通う道。文語。

スラ sura (1) [名詞] 身空。文語。

ヤミ jami (0) [名詞] 闇。暗闇。

サクフィラ sakuhwira (0) [名詞] 急坂。険しい坂。文語。

フィラ hwira (1) [名詞] 坂。

クルマ kuruma (0) [名詞] 砂糖車。製糖工場の圧搾車。

トーバル toobaru (1) [名詞] 平原。平野。平坦地。

ウィーミチ ?wiimici (1?) [名詞] 上の道。ウィー ?wii (1) (上) + ミチ mici (1) (道)
の複合語。

クンチッチ kuNciQci 横切って。横切って近道をして。動詞クンチユン kuNcijuN(1)

(横切る)のテ形。クンチチは、歌詞などで促音を省略し、短くなった形。

クンチュン kuNcijuN (1) [動詞] 横切る。クンチラン kuNciraN (横切らない)。クンチッチ kuNciQci (横切って)。

シチャミチ sicamici (1?) [名詞] 下の道。シチャ sica (1) (下) + ミチ mici (1) (道)の複合語。

トゥーリバ tuuri-ba 通れば。動詞トゥーユン tuujuN (0) (通る)の已然形 + 接続助辞バ -ba の形。文語的表現。

バ -ba ~ば。条件を表す接続助辞。

トゥーユン tuujuN (0) [動詞] 通る。トゥーラン tuuraN (通らない)。トゥーティ tuuti (通って)。

カナシ kanasi 愛しい。形容詞カナサン kanasaN (1) (愛しい)の文語的連体形。あるいは、カナシ kanasi を不変化の語と見て連体詞とするか。

カナサン kanasaN (1) [形容詞] 愛しい。かわいい。かつては、カナシャン kanasjaN と言った。

ウムヤー ?umujaa (0) [名詞] 恋人。思う相手。歌詞などで、ウムヤと短くなる。

トゥ -tu[格助詞] ~と。行為の相手などを表す。

イチャユラ ?icajura 会うだろう。動詞イチャユン ?icajuN (1) (会う)の推量形。

イチャユン ?icajuN (1) [動詞] 会う。イチャラン ?icaraN (会わない)。イチャティ ?icati (会って)。

③

アガリカタ ?agarikata (0) [名詞] 東の方。ここでは、東側の出身者ということ。

デムヌ -demunu[接続助詞] ~であるから。~なので。文語。口語では、デームン deemuN と言う。

ウタ ?uta (1) [名詞] 歌。ここでは歌の良し悪しを勝負している。歌合戦。

ヌ -nu[格助詞] ~が。ここでは主格を表す。

マキヤビーミ makij-abii-mi 負けますか。ここでは反語的に「負けますまい」の意味となる。動詞マキユン makijuN (1)の連用語幹 + 丁寧の助動詞アビーン -abiiNの終止形 + 疑問の終助辞イ -iの形。歌詞でマキヤビミと短くなっている。「ビーン + イ」の融合部分は「ビーミ」となり、古い音の m 音が出現する。

マキユン makijuN (1) [動詞] 負ける。マキラン makiraN (負けない)。マキティ makiti (負けて)。

アビーン -abiiN[助動詞] ～ます。丁寧の意味を表す対者敬語の助動詞。動詞の連用語幹に付く。アビラン -abiraN (～しません)。アビティ -abiti (～しまして)。

イ -i[終助辞] ～か。疑問の終助辞。決定疑問文のときに用い、補足疑問文(疑問詞疑問文)のときには使わない。

フィチミソーリ hwici-misoori お弾きなさい。弾いてください。動詞フィチュン hwicuN (1) の連用形 + 尊敬の助動詞ミシェーン -miseeN の命令形。

フィチュン hwicuN(1)[動詞] 弾く。フィカン hwikaN(弾かない)。フィチ hwici(弾いて)。

ミシェーン -miseeN[助動詞] ～なさる。お～になる。尊敬の助動詞。動詞の連用形、あるいは、連用形からイ -i を除いた形に付く。ミソーラン -misooraN (～なさらない)。ミソーチ -misoooci (～なさって)。

サトゥメー satumee (0) [名詞] 殿方。愛しい貴方。女性から男性の恋人を呼ぶ言ひ方。漢字は慣習的に【里前】を当てる。サトゥ satu (1) に敬称辞メー -mee【前】が付いた形。

ヌシティ nusiti 載せて。ここでは「歌を載せて」の意。動詞ヌシユン nusijuN (1) (載せる) のテ形。

ヌシユン nusijuN(1)[動詞] 載せる。ヌシラン nusiraN(載せない)。ヌシティ nisiti(載せて)。

サビラ s-abira (～して) みましよう。動詞スン suN (1) の連用語幹 + 丁寧の助動詞アビーン -abiiN の志向形。動詞スンは、もとは「する」の意であるが、ここでは動詞のテ形のあとに続いて、「(～して) みる」という試みを表す意味となっている。類例:『沖繩語の入門』第15課「ペークーガ ウスガナシーメーヌ ウスバンカイ ユシリティ ャンジ サビタクトウ、」(渡嘉敷ペークーが琉球国王のお側にうかがってみましたところ、)。沖繩語の試みを表す言い方には、「テ形 + ンジュン (見る)」(歌詞①番)と「テ形 + スン (する)」(歌詞③番)の少なくとも2種類があると言える。トウヤイ tujai 取って。動詞トウユンの第3中止形。文語。口語ではトウヤーニ。何を取って投げたのかは、よく分からないが、後でユクザン(横棧)と言っているので、「戸板を取って投げれば」ということであろうか。

トウユン tujuN(1) [動詞] 取る。トウラン turaN(取らない)。トウティ tuti(取って)。
ナギリバ nagiri-ba 投げれば。動詞ナギユン nagijuN (0) (投げる) の已然形 + 接
続助辞バ-ba の形。文語的表現。

ナギユン nagijuN (0) [動詞] 投げる。ナギリラン nagiraN (投げない)。ナギティ
nagiti (投げて)。

ユクザン jukuzaN [名詞] 横棧。戸の上下のかまちの中間にある、横の棧 (三省堂『新
明解国語辞典 (第3版)』)。

カチミティ kacimiti 掴まえて。動詞カチミユン kacimijuN (1) (掴まえる) のテ形。
カチミユン kacimijuN (1) [動詞] 掴まえる。カチミラン kacimiraN (掴まえない)。
カチミティ kacimiti (掴まえて)。

トゥカ tuka (1) [名詞] 十日。

ハチカ hacika (1) [名詞] 二十日。

クンパトーレー kuNpatooree 踏ん張っていなさい。動詞クンパユン kuNpajuN (1)
(踏ん張る) の継続形 kuNpatooN (踏ん張っている) の命令形。

クンパユン kuNpajuN (1) [動詞] 踏ん張る。がんばる。クンパラン kuNparaN (踏
ん張らない)。クンパティ kuNpati (踏ん張って)。

④

タルガキティ tarugakiti 頼みにして。動詞タルガキユン tarugakijuN (1) のテ形。
タルガキユン tarugakijuN (1) [動詞] 頼みにする。タルガキラン tarugakiraN (頼
みにしない)。タルガキティ tarugakiti (頼みにして)。

イチン ?iciN (1?) [副詞] 何時も。

ハナ hana (0) [名詞] 花。はなやかなこと。花盛りであること。

トゥムナ tumu-na と思うな。文語。動詞トゥムユン tumujuN (と思う) の禁止形。
基本形トゥムル tumuru に禁止の終助辞ナ-na が付き、トゥムルナ tumuru-na が逆
行同化によって、トゥムンナ tumuN-na と音変化、さらに音数律の縮約で、トゥム
ナ tumu-na となった。

トゥムユン tumujuN [動詞] と思う。文語。トゥマーン tumaaN、トゥムラン
tumuraN (と思わない)。トゥムティ tumuti (と違って)。

ウミユラン ?umijuraN 思い及ばない。思いがけない。動詞ウミユン ?umijuN(0)

(思い及ぶ)の否定形。

ウミユン ?umijuN(0) [動詞] 思い及ぶ。ウミユラン ?umijuraN(思い及ばない)。

ウミユティ ?umijuti (思い及んで)。

カジ kazi (1) [名詞] 風。

フカバ huka-ba 吹いたら。動詞フチュン hucuN (0) (吹く)の未然形+接続助辞
バ-baの形。文語的表現。後ろの主文に命令文・疑問文などの hortative sentence
が来る。

フチュン hucuN (0) [動詞] 吹く。フカン hukaN (吹かない)。フチ huci (吹いて)。

チャー caa (1) [副詞] どう。「いか(如何)」の音変化した形。

アヌ ?anu (1) [連体詞] あの。

ヤマ jama (0) [名詞] 山。山林。

イカワン ?ika-waN 行っても。動詞イチュン ?icuN (1) (行く)の未然形+譲歩の
接続助辞ワン-waNの形。譲歩文を作るには、この「未然形+ワン」のほか、「テ
形+ン」、「過去形+テーマン」といった形がある。

ワン-waN [接続助辞] ~しても。譲歩を表す接続助辞。未然形に付く。

ウマニー ?umanii(0) [名詞] 姉さん。兄嫁や既婚の姉の敬称。士族に対して用いる。

【思姉】の漢字を当てる。語源もその通り「おもい-あね」であろう。

スナ su-na するな。ここでは「ウマニー ウマニー スナ」で「姉さん 姉さん するな」、
「姉さん 姉さんと 呼ぶな」ということであろう。動詞スン suN(1) (する)の禁止形。
基本形スル suru に禁止の終助辞ナ-na が付き、スルナ suru-na が逆行同化によって、
スンナ suN-na と音変化、さらに音縮約で、スナ su-na となった。

ヤー =jaa [終助詞] ~ねえ。~なあ。念押しを表す。

[通釈]

①多幸山の猪よ!驚くな、猪よ!私は喜納の高平安座。平安座は山田からの戻りだ。

お前たちの山田は何ほどの山田だ?私も山田に行ってみたぞよ、行ってみたぞよ。

②若い一時の恋人に通う道中の心は、闇夜の急な坂も、坂は砂糖車を据えるような平
坦地と同じだよ。

上の道を横切って、下の道を通れば、愛しい彼女と会うだろうよ、会うだろうよ。

③東側の者だから、歌は負けませまい。三線を弾いてください、愛しい方!愛しい方、

歌を載せてみましょう。

戸板を取って投げれば、横棧を掴まえて、十日も二十日も、踏ん張っていないさい、踏ん張っていないさい！

- ④若さを頼みにして、いつも花盛りと思うなよ。思いがけない風が、風が吹いたら、どうするのか。

あの山に行っても、この山に行っても、姉さん、姉さんと呼ぶなよなあ、呼ぶなよなあ！

[メモ]「トーバル」の漢字を「垣^{たい}らな原」という意味で【垣原】と当てた。【平原】の当て漢字も考えたが、「へいげん」と読まれることを考慮して採用しなかった。

3. 新^{しん}里^{さと}前^めとよ

siN-satumee-tu=joo

①

さやか ^{てい}照る ^{ちち}月に
無^ん蔵^ぞが ^{うむしがた}面^{めん}姿^さ
見^みりば ^{かた}語^ごれ欲^ぶさ
胸^{んに}ぬ ^{うむ}思い

sajaka tiru cici-ni
Nzo-ga ?umusigata
miri-ba katare-busa
Nni-nu ?umui

②

月^{ちち}見^み ^{ぐとう}する ^{ごと}毎^{まい}に
思^う出^びすさ ^{さと}里^{さと}と
波^{なん}之^ん上^{みん}ぬ ^あがた
忘^{わし}りぐりさ

cicimi suru gutuni
?ubizasu-sa satu-tu
naNmiN-nu ?agata
wasiri-gurisa

③

汝^いが ^く呉^いてる ^{くわ}ミンサ小
今^なん ^あ有^あさ ^わ我^わ身^みや
総^かや ^ち切^ちりとしが
縷^ぬや ^ぬ残^くてい

?ja-ga kwiteru miNsa-gwa
nama-N ?a-sa wami-ja
kasi-ja cirito-siga
nuci-ja nukuti

④

かし ち
総や 切りらわん

kasi-ja cirira-waN

ぬちぬ あ いえだ
有る 間や

nuci-nu ?aru ?eda-ja

うびうんじや た
思 出じゃち 給ぼり

?ubi?Nzaci tabori

わ み くとう
我身ぬ 事ん

wami-nu kutu-N

⑤

まり なが
稀に 眺みゆる

mari-ni nagamijuru

さやか てい ちち
照る 月ん

sajaka tiru cici-N

とうち い
時 しりてい 行きば

tuci siriti ?iki-ba

ぬ ふわ くむ
入端に 曇てい

nuhwa-ni kumuti

⑥

ふたい かながな
二人 愛々とう

hutai kanaganatu

ちちなが
月眺み すしん

cicinagami su-si-N

くぬ世をうてい またん

kunuju-'uti mataN

あ
有いが さびら

?ai-ga s-abira

⑦

ちち なが
月ん 眺みたい

cici-N nagamitai

でいちゃよ た むどろ
立ち戻ら

dicajo tacimudura

やがてい あかちち
眺ぬ

jagati ?akacici-nu

とうい な
鶏ん 鳴ちゆさ

tui-N nacu-sa

歌詞テキストの引用は、CD『チャンプルー沖繩 島唄ベスト③』（キングレコード KICH2159、宜保栄治郎 [解説]）にある「②新里前とよ」の歌詞カードを参考にした。

[語注]

シンサトウメートウヨー siN-satumeet-u=joo 新・里前とよ。「里前とよ」という沖縄民謡もあるので、それと対比して新しい歌のほうと言う意味で「新・里前とよ」

と歌名が付けられている。トゥ -tu は、「～と」で相手を表す格助詞、ヨー =joo は軽い強調を表す終助詞。歌名を強いて訳すると、「新・愛しい貴方とともにぞ」とでもなるであろうか。歌詞は 1 番から 7 番まで通じて琉歌形式であり、①③⑤が男声独唱、②④⑥が女声独唱の掛け合いで、⑦は男女二人で合唱する。

①

サヤカ sajaka (0) [副詞] さやか。さやかに。

ティル tiru 照る。動詞ティユン tjuN (0) (照る)の基本形の連体形。琉歌などの文語では、ティユル tijuru (照る)のみならず、ティル tiru (照る)も連体形として用いられる。

ティユン tjuN (0) [動詞] 照る。ティラン tiraN (照らない)。ティティ titi (照って)。

チチ cici (0) [名詞] 月。

ニ -ni [格助詞] ～に。動作の及ぶ相手・対象などを示す。文語で頻出する。

ンゾ Nzo(1) [名詞] 愛しいお前。彼女。男性から女性の恋人を親しんで呼ぶ言い方。漢字は慣習的に【無蔵】を当てる。

ガ -ga [格助詞] ～の。ここでは連体格を表す。

ウムシガタ ?umusigata [名詞] 面影。顔の姿。意味はウムカジ ?umukazi (0) (面影)に同じだが、音数が 1 音長い。

ミリバ miri-ba 見れば。ンジュン NzuN (0) (見る)の已然形 + 接続助辞バ -ba の文語的な表現。あるいは、ミーリバ miiri-ba の音縮約と考えれば、「見えれば」とも解することができる。その場合は、ミーユン miijuN (0) (見える)の已然形 + 接続助辞バ -ba となる。

カタレーブサ kataree-busa 語りたいこと。男女が親しく話し合いたいこと。動詞カタラユン katarajuN (1)の連用形カタライ kataraiの末尾が母音融合して、カタレー katareeとなった形に、願望の助動詞ブサン -busaNのサ語幹が付いた形である。連用形末尾の母音融合は、ワライ warai (笑い)がワレー wareeになるといった類例が見出せる。

カタラユン katarajuN (1) [動詞] 語り合う。男女が睦まじく語らう。カタラーン kataraaN (語らわない)。カタラティ katarati (語らって)。

ブサン -busaN [助動詞] ～したい。形容詞型の活用をする。

ンニ Nni (1) [名詞] 胸。

ウムイ ?umui (0) [名詞] 思い。

②

チチミ cicimi (0) [名詞] 月見。

スル suru する。動詞スン suN (1) (する) の連体形。

グトウニ -gutuni[副助詞] (～する) 毎に。文語的表現。間隔を置いて規則的に現れることを示す。口語ではカージ -kaazi と言う。

ウビジャスサ ?ubizasu-sa 思い出すよ。動詞ウビウンジャスン ?ubi?NzasuN (0) (思い出す) の尾略形+終助辞サ -sa の形。ウビウンジャスン ?ubi?NzasuN が音数律の関係により、「ウン ?N」を省略し、ウビジャスン ?ubizasuN という形に縮約している。

ウビウンジャスン ?ubi?NzasuN (0) [動詞] 思い出す。ウビウンジャサン ?ubi?NzasaN (思い出さない)。ウビウンジャチ ?ubi?Nzaci (思い出して)。

サ -sa[終助辞] ～さ。～よ。感嘆や念押しを表す。

サトウ satu (1) [名詞] 愛しい貴方。背の君。

トゥ -tu[格助詞] ～と。共格を表す。

ナンミン naNmiN[名詞] 波之上。地名。琉球八社の一つ、波之上宮があることで知られる。那覇の西の海の海岸端にあり、月の名所としても知られる。

アガタ ?agata (0) [名詞] あちら側。彼方。

ワシリグリサ wasiri-gurisa 忘れにくい。動詞ワシリユン wasirijuN (忘れる) の連用形+助動詞グリサン -gurisaN(～にくい)のサ語幹が付いた形。沖縄語の口語の「忘れる」は、ワシユン wasijuN が一般に使われるが、琉歌などの文語では、ワシユン以外に、一段動詞系のワシリユン wasirijuN も使われている。ここはその後者の形である。グリサン -gurisaN は、「～しにくい」を表す。

ワシリユン wasirijuN[動詞] 忘れる。文語であり、口語はワシユン wasijuN という。

ワシリラン wasiriraN (忘れない)。ワシリティ wasiriti (忘れて)。

グリサン -gurisaN[助動詞] ～しにくい。形容詞型の活用をする。

③

イヤー ?jaa (1) [名詞] お前。君。二人称親称を表す。

クィテール kwiteeru 呉れた。呉れてある。動詞クィユン kwijuN (1) (呉れる) の結果形クィテーン kwiteeN (呉れてある) の連体形。

クィユン kwijuN (1) [動詞] 呉れる。やる。クィラン kwiraN (呉れない)。クィティ kwiti (呉れて)。

ミンサー miNsaa (0) [名詞] ミンサー。布名。帯に用いる。ミンサー帯。

ナマ nama (1) [名詞] 今。

アサ ?a-sa 有るよ。動詞アン ?aN (0) (有る) の尾略形 + 終助辞サ -sa の形。

アン ?aN (0) [動詞] 有る。不規則活用。

ワミ wami (0) [名詞] 私。我が身。文語。

カシ kasi (0) [名詞] 布を織る経糸。総 (かせ)。

チリトーシガ ciritoo-siga 切れているが、切れているけれど。動詞チリユン cirijuN (0) (切れる) の継続形チリトーン ciritooN (切れている) の尾略形 + 逆接の接続助辞シガ -siga の形。

チリユン cirijuN (0) [動詞] 切れる。チリラン ciriraN (切れない)。チリティ ciriti (切れて)。

シガ -siga [接続助辞] ~けれども。~だが。逆接を示す。

ヌチ nuci (1) [名詞] 布を織る横糸。緯糸 (ぬきいと)。緯 (ぬき)。

ヌクティ nukuti 残って。動詞ヌクユン nukujuN (残る) のテ形。

ヌクユン nukujuN (0) 残る。ヌ克蘭 nukuraN (残らない)。ヌクティ nukuti (残って)。

④

チリラワン cirira-waN 切れても。動詞チリユン cirijuN (0) (切れる) の未然形 + 譲歩の接続助辞ワン -waN の形。

ヌチ nuci (0) 命。緯 (ヌチ) と命 (ヌチ) とで掛詞になっている。

エーダ ?eeda (0) (1) 間。

ウビウンジャチ ?ubi?Nzaci 思い出して。動詞ウビウンジャスン ?ubi?NzasuN (0) (思い出す) のテ形。

タボーリ taboori ください。タボーユン taboojuN (0) (くださる)の命令形。文語的表現。

タボーユン taboojuN (0) [動詞] 給う。くださる。文語。タボーラン tabooraN (くださらない)。タボーチ tabooci (くださって)。

クトウ kutu (0) [名詞] 事。こと。

⑤

マリ mari (1) [名詞・形容動詞] 稀。まれ。たまさか。

ナガミユル nagamijuru 眺める。動詞ナガミユン nagamijuN (0) (眺める)の連体形。

ナガミユン nagamijuN (0) [動詞] 眺める。ナガミラン nagamiraN (眺めない)。

ナガミティ nagamiti (眺めて)。

トウチ tuci (0) [名詞] 時。とき。

シリティ siriti 遅くなって。動詞シリユン sirijuN (0) (遅くなる)のテ形。

シリユン sirijuN (0) [動詞] 遅くなる。時間が過ぎる。シリラン siriraN (遅くならない)。シリティ siriti (遅くなって)。

イキバ ?ikiba 行けば。動詞イチユン ?icuN(1)(行く)の已然形+接続助辞バ-baの形。文語的表現。

ヌフワ nuhwa[名詞] 山の端。ヤマヌフワ jamanuhwa(0)(山の端)の省略語であろう。

クムティ kumuti 曇って。動詞クムユン kumujuN (0) (曇る)のテ形。

クムユン kumujuN (0) [動詞] 曇る。クムラン kumuran (曇らない)。クムティ kumuti (曇って)。

⑥

フタイ hutai[名詞] 二人。文語。口語ではタイ tai (1)という。ここでの「フタイ」の発音は音数律の関係による。

カナガナートウ kanaganaatu (1) [副詞] 仲良く。睦まじく。

チチナガミ cicinagami (0) [名詞] 月見。チチミ cicimi (0) (月見)に同じ。

スシン su-si-N するのも。動詞スン suN (1) (する)の尾略形+準体助辞シ-si (～の)+係助詞ン-N (～も)の形。

シ-si[準体助辞] (～する、～な)のもの。こと。人。

クヌユー kunujuu (1) [名詞] この世。現世。

ヲウティ -'uti[格助詞] ～で。～において。動作の行われる場所を示す格助詞。

マタン mataN (1?) [副詞] までも。再びまた。

アイガ サビラ ?ai-ga s-abira 有るでしょうか。「アイガ」は、動詞アン ?aN(0)(有る)の連用形に疑問の係助詞ガ -ga(～か)が付いた形で、語末を推量形で結ぶ。「サビラ」は補助動詞スン suN(1)(する)の連用語幹+丁寧の助動詞アビーン -abiiNの推量形。「～ガ～ラ。」で係り結びを行っている。

⑦

ナガミタイ nagamitai 眺めたし。動詞ナガミユン nagamijuN (0)(眺める)の過去形の連用形。ここでは中止的な用法である。i語尾が言い切りかいなかの議論については西岡 2014 を参照のこと。

ディチャヨ dicajo (0?) [感動詞] さあ。いざ。

タチムドウラ tacimudura 立ち戻ろう。帰ろう。動詞タチムドウユン tacimudujuN (0?)(立ち戻る)の志向形。

タチムドウユン tacimudujuN(0?) [動詞] 立ち戻る。タチムドウラン tacimuduraN(立ち戻らない)。タチムドウティ tacimuduti(立ち戻って)。

ヤガティ jagati (1) [副詞] やがて。まもなく。

アカチチ ?akacici (0) [名詞] 暁。夜明け。

ナチュサ nacu-sa 鳴くよ。動詞ナチュン nacuN (1)(鳴く)の尾略形+終助辞サ -saの形。

ナチュン nacuN (1) [動詞] 鳴く。ナカン nakaN(鳴かない)。ナチ naci(鳴いて)。

[通釈]

① (男) 清かに照る月に、愛しい彼女の面影が見えれば、語り合いたいものだ、胸中の思いを。

② (女) 月見をするたびに、思い出すよ、愛しい貴方と、波之上のあちら側にいたことを、忘れにくいことだ。

③ (男) お前が呉れたミンサー^{たていと}帯、今もあるよ、我が身には。その^{よこいと}経糸は切れているけれど、緯糸は残っているよ。

- ④ (女) たとえ^{なでいと}経糸は切れていても、その^{よこいと}緯糸が、そして、命がある間は、思い出してください、私のことも。
- ⑤ (男) たまさかに眺める清かに照る月も、時が過ぎていけば、山の端に曇ってしまつて。
- ⑥ (女) 二人睦まじく月見をすることも、この現世で再びまたあるのでしょうか。
- ⑦ (男女) 月も眺めたし、さあ、戻ろう。まもなく暁の鶏も鳴くよ。

[メモ]「～グリサ」の当て漢字として【苦りさ】が候補として考えられるが、「～しにくい」という意味とは少し外れるので、その当て漢字を採らずにそのままひらがな表記にした。横糸を意味する「ヌチ nuci (1)」は「ぬき【緯】」に、命を意味する「ヌチ nuci (0)」は「いのち【命】」に由来するが、沖縄語では同音となり（アクセントは異なる）、掛詞として巧みに用いられている。最後の歌詞⑦番は、『琉歌全集』1304 番歌「月も眺めたいかやう立ち戻ら里やわが宿に待ちゆらだいもの」（上句）と 666 番歌「さらば立ち別らよそ目ないぬうちにやがて暁のとりも鳴きゆら」（下句）の折衷的な琉歌となっている。

○参考文献

- 国立国語研究所 [編] 1963 『沖縄語辞典』 大蔵省印刷局
- かりまたしげひさ 1989 「オモロの条件形」『沖縄文化 沖縄文化協会創設 40 周年記念誌』 沖縄文化協会 :pp.493-537
- 島袋盛敏・翁長俊郎 1968 『標音評釈 琉歌全集』 武蔵野書院
- 滝原康盛 1964 『琉球民謡解説集』（上巻・中巻・下巻）琉球音楽楽譜研究所
- 西岡敏・仲原穰 2000 『沖縄語の入門 たのしいウチナーグチ』 白水社
- 西岡敏 2014 「琉歌の句末にくるラ変動詞融合の i 語尾について—ui 語尾を中心に—」『沖縄文化』 116 (外間守善先生追悼特集号) 沖縄文化協会 :pp.233-248
- 野原三義 1998 『新編 琉球方言助詞の研究』 沖縄学研究所

